

令和2年度事業計画書

公益財団法人徳川黎明会

基本方針

当財団は、本年度も引き続き、これまで蓄積してきた豊富な実績を基盤に、美術・史学の調査・研究等に一層の研鑽を重ね、その成果について、教育・普及活動等を通じて広く社会に提供・貢献する。また、尾張徳川家伝来の美術工芸品・歴史資料、保有する貴重な国内外の美術品・資料等について、展示・研究発表等を通じて社会に公開し、文化・芸術の振興に努める。

1. 本部・総務部

法人理念、事業目的・計画の実現、より円滑な運営を念頭に、引き続き徳川美術館、徳川林政史研究所の事業活動を統括・支援・推進すべく、執行・管理体制のさらなる強化に努め、社会的な労働環境の著しい変化に対応すべく、合理的な組織・制度等の見直しをより一層進めるとともに、各拠点の職場改善や業務効率化を図る。また、本部ならびに美術館の建物・設備等の経年劣化・老朽化への対策について、より明確で具体的な計画策定と実現に努める。

2. 徳川美術館

徳川美術館においては、開館 85 周年を迎える年となるところ、事業としては、引き続き地域への貢献を主軸としつつ、20～30 歳台の若年層の来館者誘致に一層の注力を行うとともに、オリンピック・パラリンピックの開催に伴う訪日外国人への訴求をも強化し、来館者数の対前年度比増大を図るための各般の施策を講ずることとする。また、新館開館 30 年余りを経過し、老朽化に伴う設備更新のため、一定の資金規標を必要とする空調機器や大型エレベーター、展示ケースなどについて、中期計画を策定し、計画的な準備を開始する。

3. 徳川林政史研究所

徳川林政史研究所においては、所蔵史料の整理・研究・公開のみに留まらず、引き続き他機関等所蔵の尾張藩関係史料等の調査・研究を推進する。第 2 代当主、徳川光友の実録編纂に着手するとともに、内木家所蔵史料調査の成果として、尾張藩林政史および山村生活の実態を解説したブックレットも編集・刊行する。教育・普及活動においては、例年通り、徳川美術館と連携した講座を開催する。併せて、ホームページを一新し、研究成果の発信・公開を充実させる。これらの調査・研究・普及活動に若手研究者を積極的に参加させ、将来有望な人材の育成に鋭意努力していく。

なお、各事業拠点における実施事業詳細については、次葉以降に記載のとおりである。

I.公益目的事業

[公益事業 1] 美術館の運営事業（徳川美術館）

1. 美術品の展示・公開・修理・保存・収集

(1) 展示・公開

① 名品コレクション展（第1～5展示室）

収蔵品中の名品を中心に、第1展示室では、甲冑・刀剣ほかの武具を展示する。また、第2展示室では、茶碗・茶入ほかの茶の湯関連品、第3展示室では、香炉・掛軸ほかの書院飾り関連品、第4展示室では、能面・能装束ほかの能狂言関連品を、各々名古屋城二之丸御殿の茶室・書院・能舞台を復元した展示室で展示する。第5展示室では、婚礼調度をはじめとする「奥道具」を紹介する。これらの展示室では、年度内に4回（4,7,9,1月）大展示替えを実施し、約1か月ごとに部分展示替えを実施する。また、第1展示室では、「名刀セレクション」、第5展示室では、「国宝 初音の調度」を順次数点ずつシリーズで紹介する。第6展示室では、「国宝 源氏物語絵巻（複製）」の展示およびビデオによる同絵巻の解説を行う。

② 特別展（第7～9展示室）

ア. 春季特別展「家康から義直へー尾張藩誕生物語ー」

4月12日～5月31日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会・中日新聞社・日本経済新聞社共催

天下統一を果たした徳川家康から、家康の息子、義直へと受け継がれた治世方針に焦点をあて、二人の生涯、そして義直の家康への思いを遺品や史料などから読み解く。

イ. 特別展「刻を描く 田淵俊夫」

6月6日～7月12日

中日新聞社・日本経済新聞社共催

当館の展示・公開事業は、従来、大名・武家文化に関連する分野を中心に、宮中や市中の文化を含め、明治期以前の時代を多くとり上げてきており、現代の作家をとり上げることは少なかったが、新たな試みとして、日本絵画の伝統を継承する作家の展覧会を特別展の枠組にて取り上げることにした。このような観点から、日本画の正統的な伝統を受け継ぐ現代日本画壇の第一人者であり、東京藝術大学名誉教授・日本美術院理事長を務める名古屋にも縁の深い田淵俊夫氏（令和元年度、文化功労者受賞）の画業を振り返り、新作を含めた名品を紹介する展覧会を実施することとする。

ウ. 特別展「漆ー徳川美術館珠玉の名品ー」

7月18日～9月13日

読売新聞社共催

世界に誇る徳川美術館の唐物漆器コレクションを中心に、日本の蒔絵、さらに朝鮮・琉球などの諸作品を通じて、漆による工芸品の美しさと魅力をたどる。なお、通常は11月末頃に行っている「国宝 源氏物語絵巻」の特別展示については、本年度は、五島美術館において同絵巻の全点公開を予定するため行わない。

エ. 秋季特別展「殿さまが好んだヨーロッパー異国へのまなざしー」

9月20日～11月3日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会・中日新聞社・日本経済新聞社共催

尾張徳川家に伝来した、日本と西欧を関連づける国内有数の貴重なコレクションを、他家伝来品等と併せて一堂で紹介する。

オ. 特別展「尾張徳川家の雛まつり」

2月6日～4月4日

中日新聞社共催

御三家筆頭の格式と豪華さを具現する尾張徳川家の雛人形・雛道具を展示する。

③ 企画展（名古屋市蓬左文庫展示室）

ア. 企画展「祈りのこころー尾張徳川家の仏教美術ー」

6月6日～7月12日

尾張徳川家伝来の華麗な経典・仏像・仏画や、供養のために寺院に奉納され、墓所へ埋葬された故人の遺愛品など、大名家の人々が仏教に寄せた思いを紐解く。

イ. 企画展「怪々奇々ー鬼・妖怪・化け物…ー」

7月18日～9月13日

古典文学に記された怪奇現象や、描かれた幽霊や鬼・妖怪などの世界を紹介する。

ウ. 企画展「読み継がれた源氏物語」

11月8日～12月13日

紫式部が著し、千年に亘り読み継がれてきた古典の名作である『源氏物語』に関し、五島美術館所蔵の「国宝 紫式部日記絵巻」を特別公開し、世界に誇る『源氏物語』の文化史をたどる。

エ. 企画展「竹ー日本の美ー」

1月5日～1月31日

毎日新聞社共催

日本人にとって最も身近な植物の一つである「竹」にまつわる様々な作品から、竹とともに育まれた日本の美意識を探る。

オ. 企画展「尾張の百科事典ー御秘本『張州雑志』ー」

2月6日～4月4日

尾張藩で「御秘本」として扱われた地誌『張州雑志』について、描かれた宝物・動植物・風俗等の色鮮やかな記録画を展示し、江戸時代の尾張国を紹介する。

④ 特別展示（第2展示室）

2月20日～3月2日

「千利休 泪の茶杓」

⑤ 特別観覧

一定の条件の下に、大学・研究機関等の研究目的の特別観覧に応ずる。また、「徳川茶会」を10月10,11,17,18,24,25,31日および11月1,3日（9日間）に実施し、併せて、一部収蔵品について、茶会参加者向けの特別観覧を実施する。

⑥ 館外展示

10月3日～11月15日

徳川家康の遺産展 刈谷市歴史博物館

(2) 修理・保存・収集

以下の所蔵品目・収集作品の修理・保存を予定している。

① 国宝 初音蒔絵調度 書棚（七宝繫）・書棚（龍膽七宝繫）

② 能装束（白・納戸細格子と茶・花色・黄・赤・白横縞腰替熨斗目）および仕覆（珠光緞子仕覆・間道挽家仕覆）

2. 調査・研究

(1) 学芸部における調査・研究（括弧内の新規表示のほかは、前年度より継続実施）

① 館蔵品悉皆調査、②尾張徳川家御道具帳のデータベース化、③尾張徳川家関係寺社蔵品調査、④尾張徳川家に関連する政秀寺所蔵什宝の調査、⑤幕末明治浮世絵の研究（新規）、⑥尾張藩御用絵師の研究（新規）、⑦大名家における絵師の絵画活動についての研究、⑧尾張における画家の活動についての研究（田中訥言を中心に）、⑨武家女性の生活史の研究、⑩「阿蘭陀」の研究、⑪中近世「唐物」

工芸品の研究、⑫尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書についての研究、⑬渡来織物の調査研究、⑭近世狩野派の研究、⑮戦国合戦図の総合的研究※、⑯江戸初期絵画の研究、⑰尾張徳川家茶頭の研究、⑱尾張徳川家の仏教絵画の研究、⑲高雄曼荼羅の復元と空海の造形観の研究※、⑳近世狩野派を中心とした図様継承と絵画製作システムに関する研究※

※ ⑮は、東京大学史料編纂所特定共同研究、⑲は、奈良国立博物館共同科学研究、⑳は、東京国立博物館共同科学研究として、文部科学省科学研究費の助成の下で実施する予定である。

(2) 徳川林政史研究所との連携における研究

- ① 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ② 尾張徳川家関連史料に関する基礎調査・研究
- ③ その他、展示・教育普及事業への協力および研究交流の促進

(3) 収蔵品データベースの構築

調書の作成・入力、写真データの作成・入力、展示作品リスト・キャプション用データの整備・入力、リスト・キャプションの作成、作品の写真撮影、作品情報のデータベース化等を実施する。

(4) 研究用図書類の整備

図書類の受入、整理および管理を行なう。

(5) 研究成果の公開・公刊

① 定期研究発表会

11月(第77回)および2月(第78回)を予定。

② 図録、研究紀要等

ア. 特別展図録の作成・頒布

春季特別展「家康から義直へ」および秋季特別展「殿さまが好んだヨーロッパ」に際し、名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会作成の共同図録の作成・頒布を予定。

イ. 簡易リーフレットの作成

企画展「祈りのこころ」および企画展「怪々奇々」に際し、作成・頒布を予定。

ウ. 英文リーフレットの作成

年度を通じ展覧会毎に内容を紹介する英文リーフレットを作成・配布を予定。

エ. 金鯪叢書第48輯(「研究紀要」第55号)の編集・刊行

③ 美術館だより「葵」(第114号～117号)の年4回(4,7,9,1月)の作成・配布を予定。

(6) 大名道具収蔵館研究会

当館を幹事館とし、研究会を実施する。

3. 教育・普及

本年度は、若年層の来館者誘致に向け、「子ども教室」での取り組みを基礎に、高・大生や20～30歳代の若年層にもわかりやすく、興味・関心を引きやすいような「体験型」の講座・教室の開発や、「入門篇」の解説・パネル・リーフレット・指導ガイドブックなどの作成を検討し、広報活動とも連携しつつ、準備ができたものについて、試験的実施を試みながら、次年度以降の展開を検討することとする。

(1) 記念講演会

- ① 春季特別展「家康から義直へ」
- ② 特別展「刻を描く 田淵俊夫」
- ③ 秋季特別展「殿さまが好んだヨーロッパ」
- ④ 企画展「張州雑誌」に際し、実施を予定。

(2) 土曜講座

以下のテーマにて年間10回の講座を開催予定。

- ① 義直の著作(4月)
- ② 神になった家康、東照大権現の表象(5月)
- ③ 尾張徳川家の仏教美術(6月)
- ④ 怪々奇々(8月)
- ⑤ 漆の美(9月)
- ⑥ 大名家と南蛮・阿蘭陀(10月)
- ⑦ 「源氏物語絵巻 桐壺」を読み解く(11月)
- ⑧ 内容未定(1月)
- ⑨ 張州雑誌(2月)
- ⑩ 大名と浮世絵(3月)

(3) 秋期講座

「殿さまが好んだヨーロッパ」展に際して、9月26,27日(2日間)に4講座を予定。

- (4) 徳川林政史研究所による古文書入門講座(土曜日午後開講)
6月6,13日,7月4,11,18,25日(合計6回)、「天保期の古文書を読む」をテーマに、シリーズで講座を実施予定。
- (5) 徳川林政史研究所による江戸学講座(土曜日午後開講)
12月から2月の間(合計4回)、研究所員を講師として実施予定。
- (6) 担当学芸員の見どころガイド
各特別展・企画展において、学芸員が展覧会の見どころを紹介する(従前のギャラリー・トーク)。
- (7) 特別展・企画展関連企画
年度を通じ、展覧会にあわせて関連する知識・情報等をパネル展示するとともに、以下の関連企画を実施する。
 - ① ゴールデンウィーク企画
武将と刀をテーマとする記念撮影イベント、スタンプラリー(5月5日)
 - ② 企画展「竹ー日本の美ー」に際し、竹を使ったワークショップを実施予定。
 - ③ 雛まつり企画(2月下旬~3月上旬)
香袋づくり、雛まつり満喫プランほかを実施する。
- (8) 組香体験(個人向け)
年度内に3回実施する。
- (9) 土曜子ども教室 小中学校の児童・生徒向け教育普及活動
毎月テーマを決めて教室を開催する(なお、土曜日は、小・中・高校の児童・生徒は観覧料無料)。
- (10) 夏休み子ども特別企画
ギャラリー・クイズ、歴史教室ほかを8月1日~30日に実施予定。
- (11) 名刀スタンプラリー
年度を通じ、随時実施する。
- (12) 中高大の生徒・学生の職場体験受け入れ(インターンシップ)
年度を通じ、随時受け入れる。
- (13) 博物館実習受け入れ
11月17日~21日(5日間)に実施予定。
- (14) 古美術相談会
原則として、毎月第1土曜日の午後実施予定。
- (15) 名曲講座
年度内に1回程度実施予定。
- (16) 見学会
年度内に1~2回程度実施予定。
- (17) 出向・受嘱
 - ① 出向
学芸部より、以下の各大学等への出講を予定。
愛知県立大学・愛知県立芸術大学・愛知淑徳大学・金城学院大学・椋山女学園大学・中日文化センター・同朋大学・名古屋芸術大学
 - ② 受嘱
学芸部において、以下の外部職務の受嘱を予定。
東京大学史料編纂所特定共同研究員、文化庁令和2年度「博物館の管理運営に関する研修」企画運営会議委員、J.フロントリテイリング史料館、西尾市史執筆委員、江戸東京博物館収集委員、高浜市文化財保護委員、その他、外部機関からの依頼に応じ、必要がある場合は、職員を派遣する。
- (18) 協賛事業

以下の外部事業への参加を予定。

- ① 第99回名古屋市文化史教室（事業提携）
名古屋市との共催による夏休み子ども歴史教室を実施予定。
- ② チャン・ビン二胡演奏団による「桜・二胡音楽会」を4月5日に実施予定。
- ③ 「文化のみち 文化財巡りスタンプラリー」
（名古屋文化遺産活用実行委員会「文化遺産を活かした地域活性化事業」）
- ④ 愛知県内の博物館・資料館などをめぐる「ひなまつりスタンプラリー」
- ⑤ 文化庁「地域ゆかりの文化資産」地方展開促進事業

4. 賛助会・友の会・大学メンバーシップ制度

(1) 賛助会会員向け優待

- ① 年間の無料入館
- ② 企画展・特別展内覧会の実施
各特別展・企画展の開催日前日に、賛助会員向け内覧会を開催（図録作成時は無料配布）
- ③ 美術館だより「葵」および各種印刷物の配布
- ④ 他館との連携による会員向け相互観覧料割引
- ⑤ 特別鑑賞会および懇親会開催
- ⑥ 見学会（国内の史跡・他館特別展等）への会員優待
- ⑦ 茶会特別観覧料金、ショップ商品等の割引

(2) 友の会会員向け優待

- ① 一般会員向け観覧料優待制度
- ② 美術館だより「葵」および各種印刷物の配布（一般会員・情報会員向け）
- ③ 一般会員向けのショップ一部商品の割引
- ④ 他館との連携による会員向け相互観覧料割引

(3) 大学メンバーシップ制度会員向け優待

- ① 対象大学法人の学生（一部教職員を含む）の観覧料優待
- ② 対象大学法人への展覧会ポスター・チラシ、イベント案内等の配布・掲示

(4) 各会員制度の一層の拡充に向けた検討

各カテゴリーの会員制度について、会員数の拡充のための方策を多様な観点から更に検討する。

[公益事業 2] 研究所の調査・研究・普及事業（徳川林政史研究所）

1. 調査・研究

(1) 研究所における研究

- ① 近世材木流通史の研究
- ② 名古屋城の構造と儀礼に関する研究
- ③ 尾張藩幕末維新史の研究
- ④ 近世の地域社会における山林利用に関する研究
- ⑤ 近代山村史の研究
- ⑥ 近世尾張藩領木曾山における山林原野用益権の存在形態
- ⑦ 近世林野の実態と利用に関する研究
- ⑧ 尾張藩祖徳川義直の研究

(2) 徳川美術館との連携における研究

- ① 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ② 尾張徳川家関連資料に関する基礎調査・研究
- ③ その他展示・教育普及事業への協力および研究交流の促進

(3) 研究成果の公開・公刊

- ① 課題研究に関する中間報告を兼ねた研究会の開催
- ② 『金鯨叢書』第48輯（『研究紀要』第55号）の編集・刊行
- ③ 史料調査の成果公開（ブックレットの刊行）

(4) 「尾張徳川史」編纂準備（尾張徳川家編年データベースの整備、史料翻刻）

(5) 尾張徳川家関連資料の調査・研究

(6) 史料調査

- ① 林政史アーカイブズ調査
 - ア. 岐阜県中津川市加子母地域
 - イ. 弘前市立弘前図書館
- ② 研究資料（複写・写真撮影資料を含む）の調査・収集
 - ア. 犬山城白帝文庫
 - イ. 岐阜市歴史博物館
 - ウ. 国立公文書館
 - エ. 国文学研究資料館
- ③ 収集史料データの整理および公開のための基礎作業

(7) 調査・研究における他機関との連携・協力

名古屋市蓬左文庫、犬山城白帝文庫、徳川記念財団の他、国立公文書館・国文学研究資料館他の資料保存機関、大学・学会と連携・協力し、調査・研究を実施する

2. 史料・図書 of 整理

(1) 所蔵史料の整理

- ① 史料整理および目録作成
尾張徳川家文書、石河家文書、尾張藩奥医師野間林庵関係文書、旧蓬左文庫所蔵絵図、徳川林政史研究所収集史料、旧名古屋税務監督局所蔵史料、王滝村松原家文書、他
- ② 目録作成
尾張国各郡史料、三河国各郡史料、美濃国各郡史料、他

(2) 所蔵史料の目録刊行（『金鯨叢書』第48輯（『研究紀要』第55号）に掲載）

- ① 尾張徳川家文書目録(17)

- ② 石河家文書目録 (13)
- ③ その他
- (3) 所蔵史料データベースの構築および保存
 - ① 所蔵史料データベースの構築
尾張徳川家文書、石河家文書、王滝村松原家文書、他
 - ② 目録データベースの検索・活用方法並びに公開体制（ホームページでの検索システム構築）の検討
所蔵古写真、所蔵史料、調査収集史料写真、のデジタルデータ化の促進
- (4) 史料のデジタルデータ化
- (5) 史料の購入・補修（活動支援基金）
- (6) 書庫内の整理ほか、保存環境の保全
- (7) 研究用図書 of 整理

3. 教育・普及

- (1) 講座・講演
 - ① 東京開催の「徳川林政史研究所公開講座」(豊島区、全6回)
 - ② 徳川美術館「徳川林政史研究所 古文書入門講座」(全6回)
 - ③ 徳川美術館「徳川林政史研究所 江戸学講座」(全4回)
 - ④ 史料調査と関連付けた講座・講演(中津川市加子母、全2回)
 - ⑤ 上廣倫理財団助成事業関連の講座・講演(都内、1回)
- (2) ホームページによる情報発信
 - ① ホームページを活用した尾張藩政史・幕政史・林政史の研究成果の普及
 - ② ホームページを利用した情報発信の促進
本年度は、ホームページの全面的なリニューアルを実施する予定
- (3) 出講・受嘱
 - ① 出講
大東文化大学、学習院大学、学習院女子大学
 - ② 受嘱
外部機関からの依頼にもとづき、必要がある場合は、研究員を派遣

4. 若手研究者の育成

非常勤研究員・研究生による①研究会の開催②史料整理・目録作成作業③徳川美術館・名古屋市蓬左文庫の見学研修④その他、史料調査・研究・普及活動などへの参加を通じ、若手研究者の育成に努める。

5. 閲覧・出陳・レファレンス業務

- (1) 史料閲覧
閲覧許可日：毎週火曜日・水曜日
- (2) 史料出陳
- (3) 所蔵史料写真の貸し出しおよび複写サービス
- (4) レファレンスへの対応

6. 事業評価委員会の開催

3月

Ⅱ.収益目的事業

[収益事業 1] 不動産賃貸事業（本部・総務部）

1. 不動産賃貸事業

外国人向け住宅の賃貸（全6棟）

[収益事業 2] ミュージアムショップ、宝善亭等の運営事業（徳川美術館）

1. ミュージアムショップの運営

売上・収益の向上に向け、環境整備や商品拡充、外部販売の実施および人材の育成等を図る

2. 宝善亭・コーヒーラウンジの利用促進

業務委託先との連携を強化しつつ、収益向上を図る

Ⅲ.管理業務

[本部・総務部]

徳川美術館、徳川林政史研究所をはじめ、法人の円滑な事業推進のため、各拠点の事業部門、管理部門の担当業務を支援し、掌理・統括する。

[徳川美術館]

1. 活動支援基金

(1) 活動支援基金に係る管理事務

[公益事業 1] 美術館の運営事業（徳川美術館）1.(2)に記載

(2) 寄附受け入れ拡充のための各種方策の検討

2. 補助金

(1) 国庫補助金に係る交付申請および管理事務

(2) 民間補助金に係る交付申請および管理事務

3. 観覧料金

前売りペアチケットの導入

(1) 適用対象展覧会

春季特別展「家康から義直へー尾張藩誕生物語ー」

秋季特別展「殿さまが好んだヨーロッパー異国へのまなざしー」

特別展「尾張徳川家の雛まつり」

(2) 価格

2,300 円（税込、販売期間限定）

4. 広報

前年度までに実施した Web 解析、来館者調査などのマーケティングリサーチに基づく広報戦略を策定し、これにより、目指すターゲットに的確に届く広報を実行する。展覧会計画や教育普及プログラムと連携しつつ、Web 施策等の新しい広報手段の活用も視野に入れ、積極的かつ効果的な広報活動を推進する。若年層向けのアピールを強化するとともに、オリンピック・イヤーであることも踏まえ、インバウンドに向けた施策にも注力する。

5. 営業

高校修学旅行、インバウンド誘致および MICE 誘致に注力した営業活動を強化する。

(1) 高校修学旅行誘致のための活動

① 国際社会におけるアイデンティティ教育を視野に、教育普及と連動した誘致のための活動を計画、実施する（体験プログラムの拡充）

② 地域内で連携可能な他施設（名古屋港水族館など）と調整した訪問営業活動を実施する

(2) インバウンド来館誘致のための活動

① 訪日率が高いエリアの旅行博覧会等への参加を図る

② オリンピック前からの海外旅行 Web サイトへの出稿を検討する

(3) 法人営業

① MICE 誘致を推進する機関と連携し、法人・宿泊施設等へ向けた営業活動を推進する

② 新規営業ツールを作成する

6. ボランティアの会運営

- (1) 展示解説の標準化（マニュアルの改訂と解説・画像ソフトの開発）
- (2) 能力（スキル）向上のためのボランティアの会研修会および見学会の実施

7. 徳川美術館運営懇話会（第 29 回）

9 月頃に開催予定

8. 徳川園各施設との連携

- (1) 月度連絡会議
- (2) 徳川園調整会議（1 月下旬）
- (3) ホームページ等 Web 上での連携
- (4) 徳川園各施設と連携しつつ、名古屋市の歴史文化基本構想を活かした観光推進事業に参加、協力する

9. 他の美術館・博物館との連携

- (1) 大名道具収蔵館研究会への参加
- (2) 私立美術館会議への参加
- (3) 日本博物館協会・全国美術館会議・愛知県博物館協会の事業への参加

10. 施設・設備の営繕と保守点検

中長期計画に基づき、以下の施設・設備の修繕および更新を実施する。

- (1) 館内整備
新館照明および共用部照明の段階的 LED 化、展示ケース内温湿度最適化に向けた検討、空調・防災・通信（電話・ネット環境）等経年劣化設備の更新のための中期計画を策定し、計画的な館内設備の継続保全を図る
- (2) 庭園整備
敷地内と樹木の管理および中庭連絡通路仮設屋根の改修工事を実施
- (3) 茶室整備
茶室と周辺庭園を引き続き整備する（防災対策を含む）
- (4) システム整備
PC 用セキュリティソフトの更新、文化財管理システム更新のための調査開始および美術館業務システムの構築を行い、業務環境の整備を図る
- (5) その他
従業員出入口の雨水対策、美術館工事図面および契約書関係の電子化、入退室管理システムの導入に向けた調査等を実施する

11. 来館者対応強化

優れた人材の確保・育成により、顧客対応力を向上させ、来館者満足度を一層高めることにより、入館者数向上につなげる。

- (1) 券売業務全般（改札業務含む）を外部業務委託する（品質向上・業務効率化・労働法制対応）
- (2) 引き続き職員・スタッフの教育研修を実施する

1. 補助金

- (1) 国庫補助金（特定奨励費およびその他の科学研究費）に係る交付申請および管理事務
- (2) 民間助成金（上廣倫理財団助成金、他）に係る交付申請および管理事務

2. 活動支援基金

活動支援基金に係る管理事務

[公益事業 2] 研究所の調査研究普及事業（徳川林政史研究所）2.(5)に記載

3. 設備管理

本部建物および設備等の修理補修等